

人格の偉大性要因について

和田 美知子

1. 研究の目的

Harvard 大学のオールポート (Allport, D. W.) は、「人格とは、個人の特徴的な行動や思考を決定づける個人内の精神身体的な力動的組織である」と定義している¹⁾。人格という概念は“パーソナリティ (Personality)”や“性格 (Character)”の概念と同義に扱われることが多い。人の個性を表わす側面は多様なために、本来はそれぞれが持つ側面に個別の概念が用意されているが、“人格”は特に個人の行動の背後にある一貫した感情的な個性を総合的に示している。私たちが日常生活の中で他者を知ったり、また対人関係を円滑に遂行していく上で欠かせないのは、その人が持っている人格（その人の全体像であり、人柄のように個人の価値基準のみで形成されている狭義の概念とは異なる）を的確に把握することであろう。従って、人格にはさまざまな要因が含まれるので、1 要因をもってその人の全体を推測することは難しい。

本研究は、上記の定義に基づいた人格研究の中で、特に『人格の偉大性』（通常は“偉い人”や“立派な人”などと呼ばれる）を構成している要因を明らかにすることを目的にしている。例えば、私たちが他者を見て、その人を“偉大な人である”とか“偉い人だ”と認識する場合に、何を基準にしてその偉大性を捉えているだろうか。ちなみに、国語辞典²⁾で『偉人』や『偉い』を引いてみると『偉人＝偉大な人、すぐれた人、大人物』、『偉い (人)＝すぐれている (人)、人に尊敬されるべき立場にある (人)』と解釈されている。それ以外の辞書から引用すると、「非常に立派な仕事をした人」「すぐれた能力、性格などを備え、偉大な業績を成し遂げた人」「世のためになるような立派な仕事を成し遂げた人」といった解釈が載せられている。しかし、いわゆる「偉大性」の構造について、一般的認識とその心理的な構造との間に、どの程度の差異が存在するのかは分からない。

本研究は、平成6年度城西大学研究奨励金の交付を受けた共同研究（研究課題：『人格の偉大性要因について』、共同研究者：藤田主一）の一部を、和田の責任において執筆したものである。

かつて藤田・高嶋^{3), 4)}が、『偉い人』について調査したところ、男子は①父, ②母, ③エジソン, ④坂本竜馬, ⑤祖父母の順, 女子は①母, ②父, ③祖父母, ④ヘレンケラー, ⑤ナイチンゲールの順となった。『偉いと思う理由』では、男子は①業績, ②行動, ③努力, ④発明発見, ⑤奉仕, ⑥性格などの順, 女子は①努力, ②性格, ③行動, ④奉仕, ⑤救済などの順となった。さらに『偉人伝』の読書経験を求めると、男子の79%, 女子の78%が何らかの読書経験を持っていた。男子は、エジソン, 野口英世, 織田信長, コロンブス, 徳川家康, 福沢諭吉, キュリー夫人, 豊臣秀吉, ベーブルース, ライト兄弟などの名前があがり, 女子は、ナイチンゲール, ヘレンケラー, キュリー夫人, ベートーベン, エジソン, 野口英世, 福沢諭吉, ファーブル, モーツァルトなどであった。『尊敬する人』『偉人』『偉人伝』の三者を、身近な人(親きょうだいなど)を除いた人物でまとめると、男子は“エジソン”を, 女子は“ヘレンケラー”をそれぞれ第1位にあげ、『尊敬する人』であり『偉人』と思い、『偉人伝』を読む, あるいはその反対のプロセスをたどることが明らかにされたのである。

2. 方 法

(1) 予備調査

本研究において『人格の偉大性』を問題にする場合の基準について, 上記の諸研究を参考にしながら検討を進めることにした。まず, 予備調査として大学生男女144名から『偉大な人』または『偉い人』をさす場合, 何を基準にしているのかを自由記述に基づいて収集したところ, 個人間の差はあったが合計537記述が得られた。それらを類似性の高いものでまとめると140項目に分類できた。さらに項目間は大きく5つの観点で分類が可能だった。ここで, 仮説的ではあるが『人格の偉大性』を構成している5因子(BASIC)理論を想定した。すなわち,

- 1 行動の基準と努力……………「達成行動の強さ」因子…… Behavior
- 2 仕事や業績……………「知名度と高業績」因子…… Achievement
- 3 社会や家族への貢献……………「社会活動の貢献」因子…… Social contribution
- 4 知的能力の高さ……………「知的能力の高さ」因子…… Intelligence
- 5 性格や人柄……………「優しさと真面目」因子…… Character

の5因子(人格構造)である。

(2) 調査対象者

埼玉県坂戸市内の公立中学校3校の生徒である。内訳は, 中学1年生277名(男子155名, 女子122名:平均年齢13.5歳), 中学2年生289名(男子151名, 女子138名:平均年齢14.5歳), 中学3年生293名(男子164名, 女子129名:平均年齢15.5歳), 合計859名(男子470名, 女子389名:平

均年齢14.5歳)であった。

(3) 調査実施

1996年(平成8年)3月上旬に、各中学校のクラス担任をとおして実施された。

(4) 調査材料

想定した5因子にそれぞれ8項目を与えた質問票を作成した(本論文末を参照)。項目は想定した5因子の順(BASIC)に並べてある。各質問項目には“非常にそう思う”から“全然そう思わない”まで5件法の形をとっている。

(5) 手続き

調査は、各クラス単位で担任が実施したが、一般的な諸注意の後に調査用紙上段に示されてある教示を読み上げる方法で実施してもらった。すなわち「下に、40個の『偉い人』がならんでいます。あなたは、その人がどのくらい偉い人だと思いますか。“非常にそう思う”から“全然そう思わない”まで(例)にならって、その場所に○印をつけてください」というものである。調査終了後、記入もれがないかを確認して回収した。

3. 結果と考察

5件法であるので、“非常にそう思う”を5，“少しそう思う”を4，以下順に3，2，“全然そう思わない”を1として，すべての集計・分析をおこなった。したがって，3が中庸，5に近づくほど肯定的，反対に，1に近づくほど否定的になる。

(1) 平均値の比較と有意差検定の結果

学年別，男女別のすべてのグループについて，平均値と標準偏差，ならびにその有意差検定結果と，各項目の5段階評価の比率のカイ二乗検定結果を，表1にまとめた。

(a) 平均値の高い項目と，低い項目について

平均値の高い項目と低い項目は，すべてのグループにおいて同様の結果となった。まず，最も平均値が高い項目は，「1. 一生懸命に努力する人(B)」と「18. 困っている人を進んで助ける人(S)」で，男子は項目18，女子は項目1の方がわずかに上回る。また，学年が進むにつれて徐々に数値が高くなる傾向がみられる。それに対して，最も平均値の低い項目は，「4. 頭の良い人(I)」と「12. 大統領や総理大臣になった人(A)」で，1年生は項目12，2・3年生は項目4の方がわずかに下回る。全体の傾向として，AとIグループの評価が低く，平均値は3.0未満で，

表1 『人格の偉大性』項目に対する中学生の評価

『偉大性』項目		1年生			2年生		
		男子	女子	全体	男子	女子	全体
1. 一生懸命に努力する人	B	4.3(0.94)	4.4(0.98)	4.3(0.96)	4.3(1.06)	4.5(0.79)	4.4(0.95)
2. 発明や発見をした人	A	3.5(1.23)	3.4(1.07)	3.4(1.16)	3.9(1.19)	3.7(1.00)	3.8(1.11)
3. 家族のために行動する人	S	3.7(1.11)	4.0(0.99)	3.9(1.07)	4.1(1.03)	4.1(0.87)	4.1(0.96)
4. 頭のよい人	I	2.1(1.12)	2.3(1.24)	2.2(1.18)	2.2(1.25)	2.3(1.12)	2.3(1.19)
5. 心がひろい人	C	3.8(1.19)	3.7(1.13)	3.7(1.16)	3.9(1.09)	3.6(1.04)	3.7(1.07)
6. 自分の考えをきちんとと言える人	B	3.6(1.10)	3.8(1.03)	3.7(1.07)	3.8(1.04)	3.9(0.86)	3.8(0.96)
7. 社会で大きな仕事をした人	A	3.0(1.23)	3.1(1.17)	3.1(1.20)	3.5(1.12)	3.3(1.08)	3.4(1.11)
8. 自分を犠牲にできる人	S	3.8(1.32)	3.5(1.17)	3.7(1.26)	4.1(1.17)	3.8(1.14)	4.0(1.16)
9. 豊かな知識がある人	I	2.9(1.20)	2.9(1.06)	2.9(1.14)	3.1(1.17)	3.0(0.99)	3.1(1.08)
10. 性格がやさしい人	C	3.3(1.14)	3.5(1.08)	3.4(1.11)	3.4(1.18)	3.4(1.09)	3.4(1.14)
11. 何でも最後までやりとす人	B	4.0(1.10)	4.0(1.03)	4.0(1.07)	4.0(1.13)	4.1(0.90)	4.0(1.03)
12. 大統領や総理大臣になった人	A	2.0(1.25)	2.2(1.25)	2.1(1.25)	2.3(1.38)	2.4(1.28)	2.4(1.33)
13. 社会のためにつくしている人	S	3.6(1.20)	3.6(1.11)	3.6(1.16)	3.8(1.15)	3.8(1.10)	3.8(1.12)
14. 物事をきばきと決められる人	I	3.0(1.06)	3.1(1.05)	3.0(1.06)	3.3(1.09)	3.2(0.92)	3.2(1.01)
15. 真面目な性格の人	C	2.5(1.19)	2.6(1.16)	2.6(1.17)	2.8(1.18)	2.5(1.00)	2.7(1.10)
16. 自分の夢を実現しようとがんばる人	B	4.2(1.09)	4.1(1.04)	4.1(1.07)	4.2(1.02)	4.1(0.96)	4.2(0.99)
17. 世界的に有名な人	A	2.5(1.24)	2.5(1.27)	2.5(1.25)	2.9(1.28)	2.6(1.13)	2.8(1.22)
18. 困っている人を進んで助ける人	S	4.3(0.98)	4.3(0.88)	4.3(0.94)	4.5(0.79)	4.3(1.00)	4.4(0.90)
19. 社会の出来事をよく知っている人	I	2.6(1.03)	2.5(0.99)	2.6(1.01)	2.8(1.15)	2.6(0.97)	2.7(1.08)
20. 責任感のある人	C	3.6(1.10)	3.6(1.06)	3.6(1.08)	3.7(1.13)	3.6(0.88)	3.7(1.02)
21. ルールや決まりをきちんと守る人	B	3.6(1.03)	3.8(1.00)	3.7(1.02)	3.8(1.05)	3.6(0.94)	3.7(1.00)
22. 立派な成績や記録を残した人	A	2.7(1.25)	2.7(1.07)	2.7(1.17)	3.0(1.22)	2.7(1.11)	2.9(1.18)
23. 社会に役立つことをしている人	S	3.5(1.19)	3.6(1.04)	3.6(1.13)	4.0(1.01)	3.8(0.96)	3.9(0.99)
24. 賢い人	I	2.4(1.14)	2.4(1.05)	2.4(1.10)	2.5(1.23)	2.3(1.03)	2.4(1.14)
25. よく気がつく人	C	3.0(1.12)	3.2(1.13)	3.1(1.12)	3.3(1.12)	3.2(1.07)	3.2(1.10)
26. 何事にもくじけない人	B	3.7(1.14)	3.8(1.13)	3.8(1.14)	3.7(1.13)	3.7(1.00)	3.7(1.07)
27. ノーベル賞をもらった人	A	2.8(1.32)	2.8(1.22)	2.8(1.27)	3.2(1.38)	2.9(1.22)	3.0(1.31)
28. 電車でお年寄りに席をゆずる人	S	4.0(1.14)	4.2(0.88)	4.1(1.04)	4.2(1.00)	4.3(0.81)	4.3(0.91)
29. すばらしい才能を持っている人	I	2.7(1.23)	2.6(1.10)	2.6(1.18)	2.9(1.26)	2.4(1.03)	2.7(1.18)
30. がまん強い人	C	3.2(1.27)	3.0(1.19)	3.1(1.24)	3.2(1.22)	2.9(0.97)	3.1(1.12)
31. 何にでもチャレンジする人	B	3.5(1.22)	3.5(1.12)	3.5(1.19)	3.5(1.16)	3.5(1.03)	3.5(1.10)
32. 歴史の教科書にのっている人	A	2.6(1.25)	2.7(1.28)	2.6(1.27)	2.9(1.28)	2.8(1.11)	2.8(1.20)
33. ボランティア活動をしている人	S	4.0(1.13)	4.0(1.06)	4.0(1.09)	4.2(1.04)	4.2(0.97)	4.2(1.00)
34. 頭の回転が早い人	I	2.5(1.16)	2.4(1.05)	2.4(1.11)	2.6(1.25)	2.4(0.99)	2.5(1.13)
35. 誰からも好かれる人	C	3.0(1.24)	2.8(1.19)	2.9(1.22)	2.9(1.17)	2.9(1.12)	2.9(1.15)
36. 物事に真剣に取り組んでいる人	B	3.8(1.20)	3.8(1.03)	3.8(1.12)	3.9(1.06)	3.8(0.98)	3.9(1.02)
37. 本をたくさん書いた人	A	2.5(1.21)	2.6(1.14)	2.5(1.18)	2.6(1.26)	2.6(0.97)	2.6(1.13)
38. 世界平和のためにがんばっている人	S	4.1(1.17)	4.1(1.10)	4.1(1.13)	4.3(0.87)	4.1(0.90)	4.2(0.89)
39. すぐれた技術を持っている人	I	2.8(1.15)	2.7(1.10)	2.7(1.12)	2.8(1.17)	2.7(0.98)	2.7(1.08)
40. 思いやりのある人	C	4.1(1.13)	4.0(1.10)	4.1(1.12)	4.0(1.00)	3.9(1.03)	4.0(1.01)

表1 『人格の偉大性』項目に対する中学生の評価(つづき)

3年生			全体			男女間 F-t/ χ^2 検定結果				学年間 分散分析/ χ^2		
男子	女子	全体	男子	女子	全体	1年生	2年生	3年生	全体	男子	女子	全体
4.4(1.01)	4.7(0.58)	4.5(0.86)	4.3(1.00)	4.5(0.81)	4.4(0.93)			** *	** *		**	*
3.8(1.09)	3.9(1.08)	3.8(1.08)	3.7(1.18)	3.7(1.06)	3.7(1.13)		**			** **	** **	** **
4.0(1.01)	4.0(0.96)	4.0(0.99)	4.0(1.06)	4.0(0.94)	4.0(1.01)	*				**		*
2.1(1.14)	2.2(1.11)	2.2(1.13)	2.1(1.17)	2.3(1.15)	2.2(1.16)							
3.8(1.05)	3.9(0.96)	3.8(1.01)	3.8(1.11)	3.7(1.05)	3.8(1.08)		*					
3.7(1.09)	4.0(0.99)	3.8(1.05)	3.7(1.08)	3.9(0.96)	3.8(1.03)				* *			
3.3(1.23)	3.2(1.18)	3.2(1.21)	3.3(1.21)	3.2(1.14)	3.2(1.18)		*			** *		** *
4.0(1.06)	3.7(1.31)	3.9(1.18)	4.0(1.19)	3.7(1.21)	3.8(1.20)	**		*	** *	**		*
2.7(1.13)	2.9(1.07)	2.8(1.10)	2.9(1.17)	2.9(1.04)	2.9(1.11)	*			** *	*		*
3.2(1.02)	3.2(1.09)	3.2(1.05)	3.3(1.11)	3.3(1.09)	3.3(1.10)							*
3.9(1.12)	4.2(0.96)	4.0(1.06)	4.0(1.12)	4.1(0.96)	4.0(1.05)			*	*			
2.2(1.26)	2.3(1.19)	2.2(1.23)	2.2(1.30)	2.3(1.24)	2.2(1.27)				*			
3.8(1.21)	4.0(1.00)	3.9(1.12)	3.7(1.19)	3.8(1.08)	3.8(1.14)					*	**	** *
3.1(1.06)	3.0(0.88)	3.1(0.98)	3.1(1.07)	3.1(0.95)	3.1(1.02)							*
2.6(1.07)	2.6(1.00)	2.6(1.04)	2.7(1.15)	2.6(1.05)	2.6(1.11)		*	*	*			*
4.2(1.00)	4.5(0.79)	4.3(0.93)	4.2(1.04)	4.2(0.95)	4.2(1.00)			**			** *	
2.5(1.27)	2.6(1.13)	2.5(1.21)	2.6(1.27)	2.6(1.18)	2.6(1.23)					*		*
4.4(0.84)	4.5(0.73)	4.4(0.79)	4.4(0.88)	4.4(0.88)	4.4(0.88)		*					
2.6(1.09)	2.6(1.02)	2.6(1.06)	2.6(1.09)	2.6(0.99)	2.6(1.05)				*			
3.7(1.05)	3.7(0.98)	3.7(1.02)	3.7(1.09)	3.7(0.97)	3.7(1.04)		*					
3.5(1.14)	3.5(1.12)	3.5(1.13)	3.6(1.08)	3.6(1.02)	3.6(1.05)							
2.7(1.23)	2.9(1.19)	2.8(1.21)	2.8(1.24)	2.7(1.13)	2.8(1.19)		*		*			
3.8(1.10)	4.1(0.86)	3.9(1.02)	3.7(1.11)	3.8(0.97)	3.8(1.05)			** *		**	** *	** **
2.4(1.14)	2.4(1.06)	2.4(1.11)	2.4(1.17)	2.4(1.04)	2.4(1.11)							
2.9(1.07)	3.3(0.97)	3.1(1.04)	3.1(1.11)	3.3(1.06)	3.2(1.09)			** **	* **	*	*	
3.7(1.08)	3.9(0.98)	3.8(1.04)	3.7(1.12)	3.8(1.04)	3.8(1.08)							
2.9(1.43)	3.0(1.27)	3.0(1.36)	3.0(1.39)	2.9(1.23)	2.9(1.32)				**			
4.1(1.06)	4.1(0.90)	4.1(0.99)	4.1(1.07)	4.2(0.86)	4.2(0.98)				**			*
2.6(1.27)	2.6(1.04)	2.6(1.17)	2.7(1.26)	2.5(1.06)	2.6(1.17)		** **	*	* **			
2.9(1.15)	3.1(1.06)	3.0(1.11)	3.1(1.22)	3.0(1.07)	3.1(1.15)		*	**	*	*	*	
3.5(1.12)	3.6(1.01)	3.5(1.07)	3.5(1.17)	3.6(1.06)	3.5(1.12)							
2.7(1.24)	2.6(1.23)	2.6(1.23)	2.7(1.26)	2.7(1.20)	2.7(1.23)			**			*	
4.1(0.93)	4.3(0.83)	4.2(0.89)	4.1(1.03)	4.2(0.96)	4.1(1.00)							* *
2.5(1.14)	2.4(1.05)	2.5(1.10)	2.5(1.18)	2.4(1.03)	2.5(1.12)		*		*			
2.9(1.18)	2.8(1.16)	2.9(1.17)	2.9(1.19)	2.8(1.15)	2.9(1.18)							
3.9(1.10)	4.2(0.87)	4.0(1.01)	3.9(1.12)	3.9(0.97)	3.9(1.05)			*			**	
2.4(1.15)	2.4(1.02)	2.4(1.09)	2.5(1.21)	2.5(1.04)	2.5(1.13)	*		**	**			
4.2(1.13)	4.4(0.87)	4.3(1.02)	4.2(1.07)	4.2(0.96)	4.2(1.02)		*	**	**	*	**	**
2.8(1.23)	2.6(1.08)	2.7(1.17)	2.8(1.18)	2.6(1.05)	2.7(1.12)				*			
4.0(1.07)	4.1(0.85)	4.1(0.98)	4.0(1.07)	4.0(1.00)	4.0(1.04)				*			**

数値：平均値(SD) / * : p<0.05 ** : p<0.01

偉いとは思わないという結果である。ただし、Aグループの「2. 発明や発見をした人」と「7. 社会で大きな仕事をした人」、Iグループの「14. 物事をてきぱきと決められる人」の平均値は3.0以上、Cグループの「15. 真面目な性格の人」と「35. 誰からも好かれる人」は3.0未満である。

(b) 男女間の検定結果について

表1の男女間の欄，学年別に，それぞれの左側に標準偏差のF検定後の平均値のt検定の結果を，右側に5段階評価の出現率の差のカイ二乗検定結果を示した。

2つの検定の結果にはかなりのばらつきがあるが，まず目に付くのは，①1年生に有意差のある項目が少ないこと，②全体のカイ二乗検定の結果に有意差のある項目が非常に多いことである。

有意差のある項目が多いので，危険率1%未満で有意差の認められた項目についてのみ，個別に検討する。

1年生では，「8. 自分を犠牲にできる人(S)」の比率の差のみに有意差があった。平均値は男子3.8，女子3.5と，男子の方が高いものの有意な差ではないが，各回答の比率をみると，男子は降順に40.6%，26.5%，15.5%，7.1%，10.3%，女子は同じく26.6%，23.8%，35.2%，7.4%，7.4%で，有意差がある ($\chi_0^2=16.02$, $df=4$, $p<0.01$)。女子の1/3以上が“どちらともいえない”と迷っているのに対し，男子では“非常にそう思う”と答えた者が特に多いのがわかる。

2年生のt検定では，「29. すばらしい才能を持っている人(I)」のみに，男子平均2.9，女子平均2.4で有意差があり (t_0 (分離)=3.36, $p<0.01$)，女子の方に否定的傾向が強い。この項目は，比率も，男子12.6%，17.2%，35.1%，16.6%，18.5%，女子2.2%，11.6%，36.2%，27.5%，22.5%で，有意差がある ($\chi_0^2=16.39$, $df=4$, $p<0.01$)。比率については，他に4項目に1%未満の有意差が認められるが，すべて男子に“非常にそう思う”比率が高い。「30. がまん強い人(C)」は，男子16.6%，24.5%，33.1%，13.9%，11.9%，女子5.1%，19.6%，46.4%，20.3%，8.7% ($\chi_0^2=15.05$, $df=4$, $p<0.01$) である。女子の半数近くが“どちらともいえない”と答えており，平均も5%未満の危険率で男子が有意に高い。「37. 本をたくさん書いた人(A)」は，男子6.6%，18.5%，27.8%，19.2%，27.8%，女子4.3%，8.0%，40.6%，33.3%，13.8% ($\chi_0^2=22.40$, $df=4$, $p<0.01$) である。男子の方に“全然そう思わない”と“少しそう思う”が多く，標準偏差のF検定には有意差があるが，平均値には差がない。「38. 世界平和のためにがんばっている人(S)」は，男子51.7%，32.5%，11.3%，4.0%，0.7%，女子39.1%，33.3%，25.4%，0.7%，1.4% ($\chi_0^2=14.04$, $df=4$, $p<0.01$) である。男子の5割，女子の4割が“非常にそう思う”と答えており，平均も5%未満の危険率で男子が有意に高い。

3年生は，平均値で4項目，比率で2項目に危険率1%未満の有意差がある。両方に共通している項目は「25. よく気がつく人(C)」で，平均値は男子2.9，女子3.3で有意差がある (t_0 (併合)=-3.37, $p<0.01$)。比率は，男子が降順に7.9%，17.1%，47.0%，15.9%，女子が9.3%，

37.2%, 34.9%, 14.7%, 3.9%, 12.2%で、男子の半数近くが“どちらともいえない”, 1割以上が“全然そう思わない”と答えたのに対し、女子は4割近くが“少しそう思う”と答えている ($\chi_0^2=19.89$, $df=4$, $p<0.01$)。他に、平均値に1%水準の有意差があった項目は、「1. 一生懸命に努力する人 (B)」(男子4.4, 女子4.7で, t_0 (分離)=-3.62, $p<0.01$), 「16. 自分の夢を実現しようとする人 (B)」(男子4.2, 女子4.5で, t_0 (分離)=-2.74, $p<0.01$), 「23. 社会に役立つことをしている人 (S)」(男子3.8, 女子4.1で, t_0 (分離)=-2.95, $p<0.01$) の3項目で、いずれも女子の方が肯定的である。一方、比率のカイ二乗検定で差があったのは、「32. 歴史の教科書にのっている人 (A)」で、男子は9.1%, 12.2%, 38.4%, 15.2%, 25.0%, 女子は6.2%, 22.5%, 22.5%, 26.4%, 22.5%である ($\chi_0^2=15.82$, $df=4$, $p<0.01$)。“少しそう思う”と“あまりそう思わない”の出現率は、女子の方が10ポイントずつ高く、その分“どちらともいえない”の比率が低くなっている。

全体をみると、まず平均値の検定では、「1. 一生懸命に努力する人 (B)」(男子4.3, 女子4.5で, t_0 (分離)=-3.42, $p<0.01$) と、「8. 自分を犠牲にできる人 (S)」(男子4.0, 女子3.7で, t_0 (併合)=2.93, $p<0.01$) の2項目について危険率1%未満の有意差が認められた。また、比率のカイ二乗検定では7項目に有意差があった。「9. 豊かな知識がある人 (I)」は、男子10.4%, 18.3%, 38.5%, 17.7%, 15.1%, 女子5.1%, 25.2%, 39.6%, 19.5%, 10.5%で ($\chi_0^2=16.00$, $df=4$, $p<0.01$), 「25. よく気がつく人 (C)」は、男子10.0%, 23.6%, 40.4%, 14.9%, 11.1%, 女子11.1%, 32.4%, 33.7%, 16.7%, 6.2%で ($\chi_0^2=14.97$, $df=4$, $p<0.01$), 「27. ノーベル賞をもらった人 (A)」は、男子18.1%, 18.3%, 26.2%, 16.2%, 21.3%, 女子11.1%, 22.1%, 31.4%, 18.5%, 17.0%で ($\chi_0^2=13.34$, $df=4$, $p<0.01$), 「28. 電車でお年寄りに席をゆずる人 (S)」は、男子47.0%, 30.0%, 15.1%, 3.4%, 4.5%, 女子43.2%, 40.6%, 12.6%, 1.8%, 1.8%で ($\chi_0^2=15.24$, $df=4$, $p<0.01$), それぞれに有意差がある。「29. すばらしい才能を持っている人 (I)」は、男子10.0%, 14.9%, 34.9%, 16.6%, 23.6%, 女子2.8%, 14.7%, 36.0%, 26.2%, 20.3%で ($\chi_0^2=26.76$, $df=4$, $p<0.01$), 男子の方が肯定的であり、「37. 本をたくさん書いた人 (A)」は、男子5.3%, 14.3%, 32.6%, 18.1%, 29.8%, 女子3.9%, 11.1%, 36.5%, 29.6%, 19.0%で ($\chi_0^2=25.59$, $df=4$, $p<0.01$), “あまりそう思わない”と“全然そう思わない”が10ポイントずつ逆転した形で、男子の方がきっぱり否定している。「38. 世界平和のためにがんばっている人 (S)」も、男子53.0%, 27.4%, 11.3%, 4.3%, 4.0%, 女子48.1%, 28.0%, 19.0%, 3.1%, 1.8%で、比率に有意差がある ($\chi_0^2=13.99$, $df=4$, $p<0.01$)。

(c) 学年間の差の検定結果について

表1の学年間の欄、男女別に、それぞれの左側に平均値の分散分析の結果を、右側に5段階評価の出現率の差のカイ二乗検定結果を示した。

表2 「2. 発明や発見をした人」の回答比率 (%)

	男 子			女 子			全 体		
	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
非常にそう思う	21.9	43.0	28.7	14.8	23.2	35.7	18.8	33.6	31.7
少しそう思う	33.5	24.5	36.6	36.9	37.0	35.7	35.0	30.4	36.2
どちらともいえない	23.2	19.2	23.2	30.3	29.7	19.4	26.4	24.2	21.5
あまりそう思わない	11.6	7.9	6.7	12.3	7.2	4.7	11.9	7.6	5.8
全然そう思わない	9.7	5.3	4.9	5.7	2.9	4.7	7.9	4.2	4.8

男女とも、3学年間で1%水準の有意差が出たのは、2項目である。まず、「2. 発明や発見をした人 (A)」は、男子の平均が1年生3.5、2年生3.9、3年生3.8 (分散比6.1, $p < 0.01$), 女子の平均が1年生3.4、2年生3.7、3年生3.9 (分散比7.3, $p < 0.01$), 全体でも1年生3.4、2年生3.8、3年生3.8 (分散比11.0, $p < 0.01$) である。また回答の比率は表2に示したとおりで、カイ二乗検定の結果は、男子は $\chi_0^2 = 21.76$, $df = 8$, $p < 0.01$, 女子は $\chi_0^2 = 20.98$, $df = 8$, $p < 0.01$, 全体では $\chi_0^2 = 26.78$, $df = 8$, $p < 0.01$ である。“非常にそう思う”の比率を見ると、平均値にも現れているように、1年生の、特に女子のポイントが低いこと、男子は2年生で際だって高くなった後下がるのに対して、女子は10ポイントずつ徐々に上がっているのが分かる。もう一つの「23. 社会に役立つことをしている人 (S)」は、男子の平均が1年生3.5、2年生4.0、3年生3.8 (分散比6.26, $p < 0.01$), 女子の平均が1年生3.6、2年生3.8、3年生4.1 (分散比7.72, $p < 0.01$), 全体でも1年生3.6、2年生3.9、3年生3.9 (分散比9.21, $p < 0.01$) で、それぞれ有意差がある。この項目も、男女とも1年生の平均が最も低く、男子は山型、女子は徐々に高くなっている。ただしカイ二乗検定の結果、1%水準で有意差があるのは全体だけで、1年生は降順に19.5%, 41.2%, 23.8%, 7.6%, 7.9%, 2年生は28.7%, 41.2%, 21.5%, 5.9%, 2.8%, 3年生は31.7%, 39.6%, 20.5%, 4.4%, 3.8%であった ($\chi_0^2 = 20.75$, $df = 8$, $p < 0.01$)。1年生に“非常にそう思う”が10ポイント低く、“全然・あまりそう思わない”が8ポイント高い。

男子の学年間に1%水準の有意差のある項目は、他に3項目ある。「3. 家族のために行動する人 (S)」は、1年生3.7、2年生4.1、3年生4.0で、1年生の平均値が低い (分散比5.59, $p < 0.01$)。「7. 社会で大きな仕事をした人 (A)」は、1年生3.0、2年生3.5、3年生3.3で、平均に同じ傾向が見られる (分散比5.78, $p < 0.01$)。この項目は全体にも平均に1%水準の有意差があり、1年生3.1、2年生3.4、3年生3.2である (分散比5.58, $p < 0.01$)。全体で見ると、1年生が低いというより、2年生の平均が高いといった方が良いようだ。「8. 自分を犠牲にできる人 (S)」は、比率に有意差が見られ、1年生は降順に40.6%, 26.5%, 15.5%, 7.1%, 10.3%, 2年生は49.0%, 25.8%, 15.2%, 3.3%, 6.6%, 3年生は43.3%, 21.3%, 29.3%, 3.0%, 3.0%である ($\chi_0^2 = 22.48$, $df = 8$, $p < 0.01$)。1年生に否定する比率が高く、3年生になると

“どちらともいえない”の比率が高くなっている。

女子の学年間に1%水準の有意差のある項目は、先の2項目の他に4項目ある。「1. 一生懸命に努力する人(B)」は、平均に有意差があり、1年生4.4, 2年生4.5, 3年生4.7で(分散比5.17, $p < 0.01$), 学年が進むとより肯定的になる。「13. 社会のためにつくしている人(S)」は、平均に差があり、1年生3.6, 2年生3.8, 3年生4.0である(分散比4.80, $p < 0.01$)。この項目は全体も1年生3.6, 2年生3.8, 3年生3.9で有意差があり(分散比6.59, $p < 0.01$), とともに学年順に平均値が高くなる。「16. 自分の夢を実現しようとする人(B)」は、1年生の平均4.1, 2年生4.2, 3年生4.5で(分散比6.87, $p < 0.01$), 3年生の平均値が高い。「36. 物事に真剣に取り組んでいる人(B)」も、平均が1年生3.8, 2年生3.8, 3年生4.2で(分散比4.70, $p < 0.01$), 同様である。「38. 世界平和のためにがんばっている人(S)」は、比率に有意差が認められ、1年生は降順に48.4%, 24.6%, 16.4%, 8.2%, 2.5%, 2年生は39.1%, 33.3%, 25.4%, 0.7%, 1.4%, 3年生は57.4%, 25.6%, 14.7%, 0.8%, 1.6%となった($\chi_0^2 = 26.89$, $df = 8$, $p < 0.01$)。2・3年生には否定した生徒がほとんどいなかったのに対し、1年生は1割が否定している。また、2年生は積極的に肯定する率が低く、代わりに“どちらともいえない”の率が高い。全体でも1年生は降順に50.2%, 25.6%, 13.7%, 5.8%, 4.7%, 2年生は45.7%, 32.9%, 18.0%, 2.4%, 1.0%, 3年生は56.3%, 24.6%, 12.6%, 3.1%, 3.4%で、有意差がある($\chi_0^2 = 21.91$, $df = 8$, $p < 0.01$)。2年生では“非常にそう思う”と“全然・あまりそう思わない”の比率が、他学年に比べて低くなっている。

(2) 因子分析の結果

質問に選んだ40項目が、はじめに想定した5因子を実際に構成しているのかどうかを、全体、男女別、学年別に、それぞれ因子分析を用いて検討することにした。主因子法で5因子を抽出し、バリマックス回転を行って得られた因子パターン(因子負荷行列)から0.4以上の項目を抜き出してソートしたのが、表3から表8である。

すべての場合において、「8. 自分を犠牲にできる人(S)」は5因子に入らない。この項目は、いずれの場合も共通性が0.1点台と低く、他の項目とは離れた位置にある。

(a) 全体での因子分析の結果

結果を表3に示した。因子5は抽出できず、項目6(自分の考えを言える)はどの因子にも入っていない。因子IはA(知名度と高業績)8項目+I(知的能力の高さ)7項目+項目15(真面目な性格)で、因子IIはS(社会活動の貢献)7項目+B(達成行動の強さ)7項目+項目40(思いやり)+項目20(責任感), 因子IIIはCのうち5項目(優しさ, 気配り)+項目14(てきぱき), 因子IVは項目31(チャレンジ)+項目30(我慢強さ)となった。

なお5因子のうち、男女間で因子得点の平均値に差があるのは因子Vで、男子-0.06(SD=

0.77), 女子0.08 (SD=0.65) である ($t_0 = -2.95$, $p < 0.01$)。また学年間では, 因子IIに1年生-0.17 (SD=1.02), 2年生0.04 (SD=0.84), 3年生0.12 (SD=0.89) で (分散比7.14), 因子IVに1年生0.12 (SD=0.80), 2年生-0.09 (SD=0.81), 3年生-0.02 (SD=0.81) で (分散比4.92), 因子Vに1年生-0.11 (SD=0.66), 2年生0.07 (SD=0.74), 3年生0.03 (SD=0.74) で (分散比4.79), それぞれ平均値に1%水準の有意差があった。

(b) 男子の因子分析の結果

表3 全体の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
17-A	.679					.474
34-I	.675					.596
32-A	.669					.472
37-A	.665					.491
24-I	.663					.538
29-I	.662					.562
27-A	.659					.516
39-I	.649					.539
22-A	.646					.473
4-I	.641					.458
12-A	.628					.414
19-I	.604					.465
9-I	.529					.390
7-A	.518					.396
15-C	.488					.428
2-A	.467					.369

33-S		.668				.460
38-S		.649				.457
18-S		.643				.436
23-S		.610				.449
36-B		.606				.538
28-S		.570				.379
13-S		.564				.432
16-B		.533				.411
40-C		.533	.521			.625
3-S		.483				.319
26-B		.469				.507
11-B		.469				.442
1-B		.468				.293
21-B		.448				.350
20-C		.409				.454

5-C			.623			.512
10-C			.614			.505
25-C			.442			.442
35-C			.439			.411
14-I			.424			.511

31-B		.419		.502		.514
30-C				.497		.417

因子与	6.869	5.678	3.049	1.773	0.675	

表4 男子の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
22-A	.675					.513
24-I	.670					.555
17-A	.663					.457
32-A	.660					.480
4-I	.654					.475
27-A	.651					.503
34-I	.642					.579
37-A	.641					.469
29-I	.623					.571
39-I	.613			.424		.584
12-A	.604					.390
19-I	.560					.417
9-I	.547					.414
15-C	.544					.457
7-A	.504					.383
2-A	.469					.371

18-S		.693				.502
33-S		.652				.448
40-C		.636	.408			.607
38-S		.627				.402
28-S		.608				.418
36-B		.584				.533
16-B		.540				.444
23-S		.516				.421
3-S		.507				.354
13-S		.493				.432
26-B		.490				.499
21-B		.463				.401
1-B		.455				.315
11-B		.427				.480
20-C		.423				.461

5-C			.644			.522
10-C			.566			.474
6-B			.460			.452
25-C			.440			.457
14-I	.405		.424			.533
35-C			.422			.416

30-C				.504		.396
31-B		.459		.472		.519

因子与	6.788	5.653	2.868	1.933	1.009	

結果は表4のとおりで、全体の結果とよく似ている。異なるのは、因子IのIが8項目揃い、項目6（自分の考えを言える）が因子IIIに入り、項目39（優れた技術）が因子IVに入っている点である。

(c) 女子の因子分析の結果

3因子しか抽出されず、全体の因子パターンとはかなりの相違がみられる（表5）。項目6は因子IIにあるが、項目21（決まりを守る）は入っていない。因子IはA（知名度と高業績）8項目

表5 女子の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
17-A	.707					.506
29-I	.697					.566
27-A	.694					.569
34-I	.692					.618
37-A	.689					.523
32-A	.689					.490
12-A	.675					.468
39-I	.669					.503
19-I	.648					.557
24-I	.633					.514
4-I	.633					.459
22-A	.599					.434
7-A	.542					.452
9-I	.497					.447
2-A	.456					.390
40-C		.689				.644
10-C		.642				.496
5-C		.617				.566
30-C		.574				.472
35-C		.557				.449
14-I		.550				.494
25-C		.546				.455
20-C		.541				.467
26-B		.538	.418			.528
6-B		.509	.406			.444
31-B		.482				.511
15-C		.444				.418
23-S			.694			.539
33-S			.691			.493
38-S			.678			.577
36-B			.596			.538
13-S			.592			.449
18-S			.579			.368
16-B			.535			.410
28-S			.497			.314
1-B			.468			.289
3-S			.446			.292
11-B		.439	.440			.391
因子与 寄与	6.874	5.131	5.120	0.723	0.700	

表6 1年生の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
18-S	.733					.604
28-S	.708					.564
33-S	.670					.466
1-B	.644					.463
38-S	.638					.500
13-S	.616					.433
36-B	.612					.548
23-S	.595					.528
21-B	.593					.495
40-C	.585		.442			.574
3-S	.585					.388
16-B	.583					.511
26-B	.528		.446			.570
20-C	.526					.531
11-B	.525					.430
31-B	.496			.456		.567
6-B	.476					.427
34-I		.747				.684
32-A		.718				.533
17-A		.709				.518
27-A		.702				.519
29-I		.688				.613
22-A		.665				.525
39-I		.663				.565
24-I		.630				.527
37-A		.615				.469
4-I		.598				.421
12-A		.588				.362
19-I		.558				.477
2-A		.532				.452
7-A		.517				.405
15-C		.497				.473
10-C			.651			.613
35-C			.500			.454
5-C	.452		.492			.458
9-I		.486	.490			.493
25-C			.470			.460
14-I			.407			.476
30-C				.524		.453
因子与 寄与	7.112	7.027	3.247	1.598	0.688	

目+I（知的能力の高さ）7項目、因子IIはC（優しさと真面目）8項目+Bのうち4項目（積極性）+項目14（てきばき）、因子IIIはS（社会活動の貢献）7項目+B（達成行動の強さ）6項目となった。因子IIと因子IIIの組合せに特徴がある。

(d) 1年生の因子分析の結果

表6にしたとおり、因子Iを因子IIが入れ替わっている外は、全体の結果とあまり変わらない。詳しくみると、因子I（全体では因子II）のBが8項目揃ってさらに項目5（心が広い）が加わ

表7 2年生の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
24-I	.698					.566
29-I	.687					.589
39-I	.677					.522
37-A	.664					.466
4-I	.659					.516
34-I	.655					.528
17-A	.646					.452
12-A	.640					.477
32-A	.621					.447
19-I	.600					.429
22-A	.589					.477
27-A	.560					.513
15-C	.526					.447
40-C		.758				.659
5-C		.705				.466
10-C		.649				.502
26-B		.647				.554
35-C		.559				.432
25-C		.529				.564
16-B		.518				.428
31-B		.481				.462
20-C		.470		.445		.584
30-C		.423				.455
3-S		.420				.352
33-S			.691			.527
23-S			.613			.542
18-S			.552			.359
38-S			.529			.330
13-S			.514			.422
36-B		.420	.460			.505
28-S			.437			.344
6-B		.460		.543		.549
14-I		.465		.465		.582
因子与 寄与	6.695	5.238	3.588	1.627	1.067	

表8 3年生の因子パターン

項目番号	因子I	因子II	因子III	因子IV	因子V	共通性
37-A	.720					.562
34-I	.705					.665
24-I	.700					.592
27-A	.665					.559
39-I	.664					.551
29-I	.664					.560
17-A	.660					.537
22-A	.660					.464
4-I	.650					.444
12-A	.641					.464
32-A	.637					.537
19-I	.634					.457
9-I	.587					.370
7-A	.531					.415
2-A	.464					.445
38-S		.695				.546
36-B		.667				.543
18-S		.647				.421
16-B		.621				.444
33-S		.616				.435
40-C		.610				.528
23-S		.552				.394
26-B		.544				.491
28-S		.530				.310
13-S		.487				.407
31-B		.482		.432		.523
11-B		.479	.410			.420
21-B		.431				.323
3-S		.424				.255
1-B		.420				.196
5-C			.648			.531
6-B			.596			.503
20-C			.506			.382
14-I			.461			.496
10-C			.437			.338
30-C				.466		.432
15-C	.430				.455	.495
因子与 寄与	6.968	5.641	2.697	1.524	1.049	

り、因子Ⅳに項目9（豊かな知識）と項目26（くじけない）が入っている。

(e) 2年生の因子分析の結果

女子の因子パターンに似ているところもあるが、4因子が抽出されているわりには、項目1（一生懸命）、項目2（発明発見）、項目7（大きな仕事）、項目8（自己犠牲）、項目9（豊かな知識）、項目11（最後まで）、項目21（決まりを守る）の、7項目が抜けている（表7）。因子ⅠはⅠ（知的能力の高さ）6項目＋A（知名度と高業績）6項目＋項目15（真面目な性格）で、因子ⅡはC（優しさと真面目）7項目＋B（達成行動の強さ）5項目＋項目14（てきぱき）＋項目3（家族のため）、因子ⅢはS（社会活動の貢献）6項目＋項目36（真剣さ）、因子Ⅳは項目6（考えを言える）＋項目14（てきぱき）＋項目20（責任感）となった。特徴的なのは、因子ⅡがCとBの組合せとなり、因子ⅢがSから成る点である。

(f) 3年生の因子分析の結果

唯一5因子が抽出されたが、基本的には全体の因子パターンに似ている（表8）。抜けているのは、項目8と項目25（気がつく）である。因子ⅠはA（知名度と高業績）8項目＋Ⅰ（知的能力の高さ）7項目＋項目15（真面目な性格）で、因子ⅡはS（社会活動の貢献）7項目＋B（達成行動の強さ）7項目＋項目40（思いやり）、因子ⅢはCのうち3項目（5心が広い・20責任感・10優しい）＋Bのうち2項目（6考えを言える・11最後までやる）＋項目14（てきぱき）、因子Ⅳは項目30（我慢強さ）＋項目31（チャレンジ）、因子Ⅴは項目15（真面目な性格）となった。

(g) 因子の分類

以上の分析の結果抽出された因子について、似ているものを整理して、名称を付けた（表9）。1つ1つの項目にこだわらずに、大体同じ項目が含まれているものを同一とみなしたところ、それぞれの因子構造の相違が、はっきり分かるようになった。

表9 因子の名称一覧

	因子Ⅰ	因子Ⅱ	因子Ⅲ	因子Ⅳ	因子Ⅴ
全体	高業績と能力	奉仕と達成力	性格の優しさ	挑戦と我慢	—————
男子	高業績と能力	奉仕と達成力	優しさと行動力	挑戦と我慢	—————
女子	高業績と能力	優しさと積極性	奉仕と達成力	—————	—————
1年生	奉仕と達成力	高業績と能力	優しさと教養	挑戦と我慢	—————
2年生	高業績と能力	優しさと積極性	社会奉仕	行動力	—————
3年生	高業績と能力	奉仕と達成力	優しさと行動力	挑戦と我慢	真面目な性格

4. 要 約

以上のように、中学生が考える『人格の偉大性』の構成要因を探るため、いろいろな集計・検定・分析を試みた結果、次のような点が明らかになった。

- ① 平均値や回答比率に有意な男女差のある項目は学年によって異なるが、1年生にはほとんど有意な男女差が認められない。
- ② 「奉仕と達成力」因子（仮定では主にSとB因子）を構成している項目は、概ね平均値が高い（肯定的）。例えば、女子の因子Ⅲに含まれる13項目（SとBのみから成る）の平均は、すべて3.8以上である。
- ③ 「高業績と能力」因子（仮定では主にAとI因子）を構成している項目は、概ね平均値が低い（否定的）。例えば、女子の因子Ⅰに含まれる15項目（AとIのみから成る）の平均は、2項目を除いて2点台である。
- ④ 過去の調査において『偉い人』としてエジソンが挙げられただけあって、「2. 発明や発見をした人」は、A因子の中では傑出して平均値が高いが、学年間の差が最も顕著な項目にもなっている。
- ⑤ 「8. 自分を犠牲にできる人」は、独立性の高い項目で、男子の方が肯定的である。
- ⑥ 仮定のC因子は、実際には「やさしさ」等と「責任感」等とで、別の因子に分かれた。
- ⑦ 「15. 真面目な性格の人」は、仮定ではC因子であったが、主にAとI因子から成る「高業績と能力」因子に含まれている（女子以外）。
- ⑧ 男子と女子の因子分析結果には、違いが認められ、特に女子の方に全体のパターンとの差がはっきり見られる。
- ⑨ 学年別の因子パターンには、それぞれに相違点が認められるが、特に2年生が特徴的である。他は大まかに言うとAとI因子、SとB因子、C因子に分かれたが、2年生だけはIとA因子、CとB因子、S因子の組合せになった。
- ⑩ 『人格の偉大性』の構造は、3因子ないし4因子で説明できるものと思われる。
 今後は、小学生や大学生のデータとも合わせ、項目を見直して、再調査を実施していきたい。

《付記》本研究に快くご協力くださいました、埼玉県坂戸市立坂戸中学校（校長渡邊庸久先生）、城山中学校（校長平賀八郎先生）、泉中学校（校長福島駿先生）の関係各位に深謝申し上げます。

<参考文献>

- 1) 藤永 保ほか（編集）：『心理学事典（新版）』。平凡社，1981.
- 2) 新村 出（編）：『広辞苑（第三版）』。岩波書店，1983.
- 3) 藤田主一・高嶋正士：『児童・生徒による偉人像の方向について』。日本性格心理学会第2回大会発表論文集，1993.
- 4) 藤田主一・高嶋正士：『小学生からみた現代の偉人像』。日本応用心理学会第60回大会発表論文集，1993.

下に、40個の「偉い人」がなっています。あなたは、その人がどのくらい偉い人だと思いますか。“非常にそう思う”から“全然そう思わない”まで、(例) にならって、その場所に○印をつけてください。

非
常
に
少
し
ど
ち
あ
全
そ
う
思
う
そ
う
思
う
ち
え
ら
な
い
ま
り
思
わ
な
い
然
そ
う
思
わ
な
い

- (例) 「食べ物に好き嫌いのない人」は偉い人です。
- 1. 「一生懸命に努力する人」は偉い人です。
- 2. 「発明や発見をした人」は偉い人です。
- 3. 「家族のために行動する人」は偉い人です。
- 4. 「頭のよい人」は偉い人です。
- 5. 「心がひろい人」は偉い人です。
- 6. 「自分の考えをきちんと言える人」は偉い人です。
- 7. 「社会で大きな仕事をした人」は偉い人です。
- 8. 「自分を犠牲にできる人」は偉い人です。
- 9. 「豊かな知識がある人」は偉い人です。
- 10. 「性格がやさしい人」は偉い人です。
- 11. 「何でも最後までやりとおす人」は偉い人です。
- 12. 「大統領や総理大臣になった人」は偉い人です。
- 13. 「社会のためにつくしている人」は偉い人です。
- 14. 「物事をときばきと決められる人」は偉い人です。
- 15. 「真面目な性格の人」は偉い人です。
- 16. 「自分の夢を実現しようがんばる人」は偉い人です。
- 17. 「世界的に有名な人」は偉い人です。
- 18. 「困っている人を進んで助ける人」は偉い人です。
- 19. 「社会の出来事をよく知っている人」は偉い人です。
- 20. 「責任感のある人」は偉い人です。
- 21. 「ルールや決まりをきちんと守る人」は偉い人です。
- 22. 「立派な成績や記録を残した人」は偉い人です。
- 23. 「社会に役立つことをしている人」は偉い人です。
- 24. 「賢い人」は偉い人です。
- 25. 「よく気がつく人」は偉い人です。
- 26. 「何事にもくじけない人」は偉い人です。
- 27. 「ノーベル賞をもらった人」は偉い人です。
- 28. 「電車でお年寄りに席をゆずる人」は偉い人です。
- 29. 「すばらしい才能を持っている人」は偉い人です。
- 30. 「がまん強い人」は偉い人です。
- 31. 「何にでもチャレンジする人」は偉い人です。
- 32. 「歴史の教科書にのっている人」は偉い人です。
- 33. 「ボランティア活動をしている人」は偉い人です。
- 34. 「頭の回転が早い人」は偉い人です。
- 35. 「誰からも好かれる人」は偉い人です。
- 36. 「物事に真剣に取り組んでいる人」は偉い人です。
- 37. 「本をたくさん書いた人」は偉い人です。
- 38. 「世界平和のためにがんばっている人」は偉い人です。
- 39. 「すぐれた技術を持っている人」は偉い人です。
- 40. 「思いやりのある人」は偉い人です。

(例) | _____ ⊕ _____ |

1. | _____ |

2. | _____ |

3. | _____ |

4. | _____ |

5. | _____ |

6. | _____ |

7. | _____ |

8. | _____ |

9. | _____ |

10. | _____ |

11. | _____ |

12. | _____ |

13. | _____ |

14. | _____ |

15. | _____ |

16. | _____ |

17. | _____ |

18. | _____ |

19. | _____ |

20. | _____ |

21. | _____ |

22. | _____ |

23. | _____ |

24. | _____ |

25. | _____ |

26. | _____ |

27. | _____ |

28. | _____ |

29. | _____ |

30. | _____ |

31. | _____ |

32. | _____ |

33. | _____ |

34. | _____ |

35. | _____ |

36. | _____ |

37. | _____ |

38. | _____ |

39. | _____ |

40. | _____ |